

### 9月基本的教育と識字率向上月間・ ロータリーの友月間に寄せて

国際ロータリー第2590地区ガバナー 長戸 はるみ



JICA 青年海外協力隊 OB である川崎中ロータリークラブ 内藤幸彦氏が中心となって続けておられる、エチオピアでの農村児童教育支援活動をご紹介します。

川崎中ロータリークラブのエチオピアの農村児童教育支援は、農村学校に3人掛け椅子付き長机を送る活動です。私も内藤会員と約20数年前に地区 GSE 委員会や平和フェロー委員会でご一緒に活動したご縁でこの活動を知り、賛同して一度エチオピアにお筆を持って参加してきました。現在でも山岳部の学校は、電気・水道もない中、子供達は地べたに直に座り道路の石を椅子代わりに勉強しているのが現状です。でこぼこ道を2時間程歩いて学校に来ています。しかし女の子は母親と毎日遠くまで水を汲みに行き、帰りは水の入った重い入れ物を頭に載せて運びます。男の子は牛や羊の世話をさせられ学校に行かれない子供達がたくさんいますが、本当は学校に行くことを楽しみにしています。学校に通わせて文字を勉強し、親達が子供達を労働力として考えるのではなく、教育を身につけさせ、エチオピアの未来を担う子供達を育てる。その子供たちに勉学する場所を提供する本プロジェクト、今月の月間に関連するプロジェクトの一例としてご紹介しました。

当地区の社会国際奉仕委員会のホームページでは、本プロジェクトはじめ、協力してほしいというクラブ情報等も併せて各クラブの社会奉仕、国際奉仕プロジェクトや、また国際奉仕活動に励む NPO 法人もご紹介しています。特に国際奉仕について独自で企画するのはなかなかハードルが高いと感じているクラブがあれば、様々な活動に協力することから始めてみるのも一つではないでしょうか？

さて、今月はロータリーの友月間でもあります。ロータリーの友地区代表委員はガバナーの代理として各地区から選出された人達、という事をご存じでしょうか。私も10年前に務め、同期の女性委員が5名と多かったせいか座談会を開催していただき掲載されました。『友』誌の購読は会員の義務の一つとはいえ、全会員の方に『友』を購入して頂いても、中々読むに至らないのが現状です。皆様に読んで頂くために、ぜひ各クラブ毎月第一例会で『友』を手にした時に、3分で結構なので当番を決めて（雑誌委員会がなければどなたでも）自分が興味を持った記事の紹介をしていただきたいと思います。

また、記事投稿をぜひお願いいたします。『友』への投稿する準備期間としてクラブ会報にコラム欄を設けて皆様から自由に投稿してもらうのも一考だと伺ったことがありました。

皆様のクラブでもいかがでしょうか？